

安全

あ し た
未来の**確**かさ
～論理的な安全衛生管理の推進・定着～



平成 27 年度 全国産業安全衛生大会 (愛知大会)
緑十字展2015 in 名古屋
愛知労働局ブース
展示のご案内

10月28日(水) → 30日(金)
名古屋市中企業振興会館 (吹上ホール)

を基礎から 考えませんか？



東海ブロック労働局・労働基準監督署
愛知労働局全国大会プロジェクト委員会

事業場で実際に行われた労働安全衛生対策の事例を展示します。

事例展示を通じて「安全」を基礎から考えませんか？

展示期間：10月28日(水)→30日(金)

知

関わる
危なさを把握し

安全
防護

本質
安全化

例えば移動のために自動車や電車を利用するとき、例えば暖をとるためにヒーターを焚くとき、私たちは、交通事故や火災のおそれと向き合わなければなりません。階段を上るとき、道路を歩くとき、屋内を歩いているときも同じです。私たちは、常に危なさと関わり、事故のおそれと向き合っています。

日常生活はもちろん、事業活動を行う職場では、さらに多くの危なさと向き合わねばなりません。では、それらにどう対応したらいいのでしょうか？

まずは、危なさと関わっていることを「知る」ことです。
関わる危なさを把握しなければ、対応策を考えることはできません。

危なさと関わっている限り、事故の可能性をゼロにすることはできません。絶対と呼べる対応策は、この世に存在しないからです。

絶対がないなかで、どうすれば「安全」を確保できるのでしょうか？そもそも「安全」とは何なのでしょう？

リスクに応じた対応策を「考える」ためには「安全」についての理解が不可欠です。

考

リスクに
応じた対応を考え

管理的
対策

安全
防護

関わる危なさを自ら把握する「知」。

リスクに応じた対応を考える「考」。

対応を実行・行動し、具現化する「動」。

「知」「考」「動」のための基本原則は、「安全」についての理解です。

「安全」とは何か。安全の成り立ちとはどのようなものか。

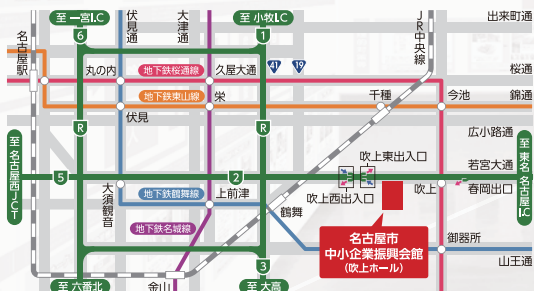
基本原則を知れば、応用し、職場に活かすことができます。

動

対応を
実行・行動する

本質
安全化

東海ブロック労働局・労働基準監督署では、事業場で実際に行われた労働安全衛生対策の事例掲示を行いつつ、「安全の考え方」について展示を行います。



展示日程等

●平成27年10月28日(水)～30日(金)

- 28日 (9:30～17:30)
- 29日 (9:00～17:00)
- 30日 (9:00～15:00)

●名古屋市中小企業振興会館
(吹上ホール)

●入場料：無料

基本原則を知れば、実効性あるアイデアが生まれる。
応用力が高まる。生きた安全が実現できる。
未来の確かさが高まる。

